

「建築士の日」記念行事

ウォークラリー「歩いてさがそう未来のKURE」

社会活動委員会 女性部会長 家頭 昌子

「あのね、母さん…」「それでね、父さん…」—ウォークラリーに参加してくれた子どもたちが、家に帰ってから寝入るまで、ウォークラリーで見たこと、聞いたこと、体験したことをお父さんやお母さんにいろいろとお話してくれたそうです。「よほど楽しかったんでしょうね」という感想が、保護者の方たちから寄せられました。付き添いで歩いた大人たちから、ウォークラリーで歩いて



いる最中の子どもたちの様子や会話を聞くと、とても楽しく歩いていたことが分かります。



時に、「親に聞かせたいよ」って言葉も混じりつつ、知らない子ども同士がわずかの間に仲良くなって、いろいろな会話を交わしたようです。



まとめのパネル作成中は、細かい作業に集中したり、机の上に身を乗り出して書き込みをしたり、熱が入るあまりに机の上に座り込んでしまったり…時間が押してくる中、なかなか終わらなくて、延長に延長を重ねていましたが、パネルも無事完成。各グループごとに感想の発表をしました。「へえ〜」って思うことや、「なるほど!」って思うこともあって、子どもたちの目線で見た呉の街を知ることができました。そして何より、「単に楽しいイベントだけでは終わっていない」ということが、子どもたちの書いてくれたアンケートの中に残されていました。「普段、普通に通っ



ている所がすごい所だと分かりました」「知らないことをたくさん知れた」「普通に暮らしている呉でも、知らないことがたくさんあったので、びっくりしました。これからは呉のことを調べていきたいです」「またやりたい、次回も参加します」



イベント翌日、呉市役所ロビーでパネル展示していると、早速、参加してくれた子どもたちがお母さんやおじいちゃんと一緒に来て、自分の作ったパネルに案内していろいろなお話をしていました。目を輝かせながら一生懸命、自分が見たこと、感じたこと…それを保護者の方がほほ笑みながら聞いている光景は、とても嬉しいものでした。

そして、市役所を訪れた方たちが足を止め、パネルを見ていってくださいます。見ず知らずの大人同士がパネルの前で話をしているのも、過去の呉という共通の話題があるからでしょう。ある人はパネルを指さしながら1カ所ずつ確認し、またある人は過去の地図を食い入るように見つめ、それぞれに過去の呉を思い出し、子どもたちが歩いた今の街を考えているようでした。

街には歴史があります。街づくりは断片ではなく、きちんとした計画の基に構築されています。そして、街の持つ歴史の流れの中には、その街に暮らした人たちの思いが詰まっています。過去から現在につながる人たちが今の呉の街を作り上げてきたこと、それを次につなげていくのが自分たちであるということ。過去から現在へ残っているもの、残っていないもの。今から未来へ残したいもの、残したくないもの。そして、呉の街の自慢できるところ。5つの課題を考えながら街を歩く中で、子どもたちなりに感じてくれたことも多くあったのではないのでしょうか。

たとえ今は小さな種であっても、子どもたちの心の中に街を考える種を蒔けたのではないかと思います。4月から会議を重ね、昨年の反省点を改善し、検討を積み重ねてきましたが、まだまだ反省点、改善点が多くあります。これらをさらに検討して、来年の「歩いてさがそう未来のふくやま」につなげていきたいと思います。

MONTHLY No.55 建築士

IROSHIMA



表紙写真について

「サービスハウス アネックス」

- 設計監理／渋谷建築設計事務所
- 施 工／三島産業株式会社
- 所 在 地／福山市春日町
- 発 注 者／社会福祉法人「東光会」
- 構造規模／鉄骨造 5階建
- 用 途／高齢者専用賃貸住宅
- 建築面積／1,224.55㎡
- 延床面積／3,951.65㎡
- 完成年月／平成22年3月

「住み慣れた地域で暮らし続けたい」という思いをサポートする、社会福祉法人「東光会」様の高齢者専用賃貸住宅です。

敷地の形状を生かして、全戸が南に面する配置とし、



利用者の安全性を考慮して設備面ではオール電化の計画にしました。4階・5階には、ご夫婦で入居可能な70平米と広めの住戸プランも用意し、来訪家族が泊まれるゲストルームやシアタールーム、理美容室も設置しました。また、東光会グループの介護施設や病院が近隣に位置し、入居された方が安心して生活できる立地にあります。

外壁ALCはヘーベルDKパネルを採用し、これまで比較的単調だったALC外壁面に彫りの深さを演出することができました。そして、建物1階には吹抜けを設け開放感のあるエントランスや食堂を設置する一方で、階高を低く抑え、容積面・建築コスト面からも効率よく住戸を配置しています。さらに屋上緑化を施し、5階住戸からはセットバックした屋上面の緑を眺められるように計画しています。

事務局より『専攻建築士』の新規申請と更新申請

★平成22年度の審査・登録申請書用紙類、記入例、審査・登録申請のガイドは、ホームページからダウンロードして下さい。(9月中旬ごろ掲載予定)

<http://www.k-hiroshima.or.jp/>

□申請期間

平成22年11月1日(月)～11月30日(火)

□審査・登録手数料(会員)

1領域 15,800円 2領域 27,300円 3領域 37,800円

□申請方法

審査・登録申請ガイドをご覧ください。

□提出先

新規申請 → 所属の支部

更新申請 → 本部

★必ず、平成22年度の「広島県建築士会」の申請書を使用して下さい!昨年度のもの、他の建築士会のもの、

連合会のものは使わないで下さい!

★ガイドをよく読んで下さい!

□新規申請

申請条件: 10月までにCPD制度に参加している。

選考基準

- ・実務経歴が資格取得後5年以上ある
- ・実務実績: 責任ある立場で3年
- ・CPD単位: 12単位

(H21.11.1～H22.10.31の期間のもの)

受付場所: 所属の各支部

□更新申請

対 象 者: 平成17年度登録の専攻建築士(登録証の有効年月日が、2011年3月31日の方)

受付場所: 本部事務局のみ

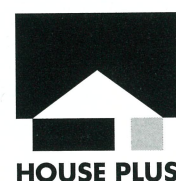
事務局より 会費の口座引落とし手続きについて

当会では会費の収納方法について、現金取扱による事故防止、集金や振込に伴う煩雑さを解消するため「預金口座自動振替制」を導入することと致しました。

平成23年度分から預金口座から自動的に引落としが出来る方法に変更致します。

次号(10月号)に、詳しい案内と「口座振替依頼書」を同封致しますので、必ずご確認ください。

できるだけ自動口座引落としの手続きをしていただきますようご協力お願い申し上げます。

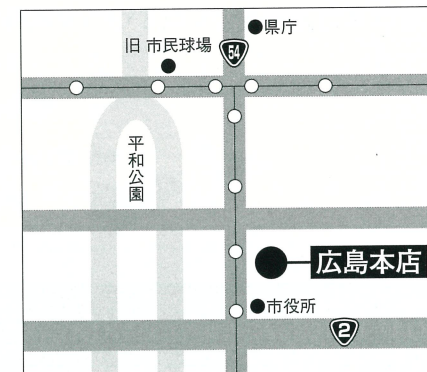


指定確認検査機関(中国地方整備局長指定第1号)
登録住宅性能評価機関(中国地方整備局長登録第5号)
登録建築物調査機関(中国地方整備局長登録第1号)

ハウスプラス中国住宅保証株式会社

代表取締役社長 河内 昭士

〒730-0042 広島市中区国泰寺町1丁目3番32号
TEL:082-545-5607(代表) FAX:082-545-5608



安心で安全な住まいづくりをサポートします

◎ 建築確認・検査

◎ 住宅性能評価

◎ フラット35 適合証明

◎ 長期優良住宅技術審査

◎ 住宅エコポイント

◎ 住宅かし担保責任保険

(財)住宅保証機構 (まもりすまい保険)
(株)住宅あんしん保証 (あんしん住宅瑕疵保険)
(株)日本住宅保証検査機構 (JIO わが家の保険)
たてもの(株) (たてもの保険 NAIS)



指定確認検査機関・登録住宅性能評価機関

株式会社 広島建築住宅センター

本社 〒730-0013 広島市中区八丁堀 15-10
TEL(082)228-2220 FAX(082)228-2231
営業所 〒720-0034 福山市若松町 8-22
TEL(084)928-3979 FAX(084)928-3974

既存建築物の耐震診断・改修計画判定業務を行っています

(既存建築物耐震診断・改修等推進全国ネットワーク委員会加入)

- | | | |
|----------------|------------------|-----------------|
| ■ 指定確認検査機関 | ■ 登録住宅性能評価機関 | ■ 指定構造計算適合性判定機関 |
| ■ 登録建築物調査機関 | ■ 適合証明業務(フラット35) | ■ 長期優良住宅認定審査業務 |
| ■ 住宅瑕疵担保責任保険業務 | ■ 調査診断業務(耐震診断等) | ■ 耐震診断判定業務 |
| ■ 住宅エコポイント関連業務 | | |

URL <http://www.jesupport.jp/>

皆様に、より良いサービスの提供に努めてまいります。



株式会社 ジェイ・イー・サポート

代表取締役 石山 講

本社 〒730-0041 広島市中区小町2-30
TEL:082-546-1378 FAX:082-249-7190

e-mail: mail@jesupport.jp

支店: 東京・札幌 営業所: 呉

事務局より「定期講習」は受講されましたか？

設計事務所に所属する建築士は、「定期講習」を平成24年3月31日までに受講しない場合、建築士法に基づく懲戒処分の対象になる恐れがあります。広島県における受講の義務のある建築士は約6,000名ですが、この内、既に受講された方は3割弱です。

このままでは来年度の講習は希望者が殺到し、受講できない恐れがあります。また来年度は、平成20年度に受講された方が2回目を受けられる年度でもあります。

当会が運営する「定期講習」も、年間実施の回数に限りがあり、会員優先受付というようにできません。今年度はまだ比較的空いていますので、ぜひ早目に受講して下さい。

■今後(22年度)の予定

開催日	会場	受付期間
11月16日(火)	広島県情報プラザ	8月30日(月)～9月30日(木)
平成23年2月23日(水)		11月15日(月)～12月22日(水)

*各回とも定員200名(定員になり次第、締切ます)

◆受講申込書配布場所

本部事務局・広島支部・呉地区支部・三原支部・尾道支部・県北支部、及び広島県建築士事務所協会で配布しています。

◆受講申込場所

広島県建築士会本部事務局(郵送受付可)
〒730-0052 広島市中区千田町3-7-47-5F

2010 Information Calendar 9月・10月の行事予定

9 September

- 11 土・まちづくり学習会in尾道 多門亭(尾道支部)
・第34回ソフトボール大会(福山市)
- 12 日・二級建築士「製図」試験(県立広島工業高校)
- 25 土・一級建築士製図試験対策講習会(福山支部青年部会)
- 26 日・第7回まちづくり学習会(呉市豊町御手洗)
・尾道地区建設関係ソフトボール大会(尾道支部)
・一級建築士製図試験対策講習会(福山支部青年部会)

10 October

- 5 火・講習会「建築確認申請マニュアル2010」(広島県情報プラザ)
- 10 日・一級・木造建築士「製図」試験(広島県情報プラザ)
- 22 金・建築士会全国大会「佐賀大会」

TAKENAKA CORPORATION

人にやわらかいビル。

私たちがめざしているのは
人の感性にもっとやさしく触れてくる街。
そのために、建築の領域を大きく広げ
それぞれの最先端技術に磨きをかけています。

想いをかたちに
竹中工務店

お問い合わせは
〒136-0075 東京都江東区新砂1丁目1-1 Tel.03(681)015140
〒541-0053 大阪府中央区本町4丁目1-13 Tel.06(626)315605

www.takenaka.co.jp

あなたの作品で表紙を飾ってみませんか？

随時、表紙用の写真を募集しています。写真(プリント、ポジ、データ)2～3点を設計概要、設計趣旨(400字程度)と一緒に送ってください。会員の皆様からのご応募をお待ちしています。

社団法人 広島県建築士会

〒730-0052 広島市中区千田町3-7-47 広島県情報プラザ5F
TEL (082) 244-6830(代) FAX (082) 244-3840
mail : info@k-hiroshima.or.jp
URL : http://www.k-hiroshima.or.jp/

平成22年全国女性連協議会

「女性建築士の新たな出発」に参加して

福山支部 竹内 貴子

7月16日(金)、建築会館ホール(東京)にて全国から366名の参加の下(広島からは8名)、開会式が行われました。



基調講演は、『女性とまちづくり～女性化する社会の中での都市と建築』。宗田好史准教授(京都府立大学)を講師にお迎えし、女性化する消費とその変化に対応できない京都の市街地についてのお話がありました。消費者ニーズの変化に対応している店舗経営者は生き残り、対応できない店主は衰退しつつある現実や、女性客の倍増で飲食費が土産物費を上回り、女性に売れる飲食店や土産店が顕著に伸びてきているとのことでした。

パネルディスカッションでは、『これからの女性建築士の目指す道』というテーマで討議されました。パネリストには、宗田好史氏・柳川陽文氏(大阪府建築士会会長)・村上美奈子氏(初代連合女性委員長)・宮本伸子氏(第4代連合女性委員長)・定行まり子氏(第5代連合女性委員長)。定行氏が、「全建女」第1回開催からの経緯を振り返り、歴代委員長の逸話を述べられました。

平成2年第1回東京大会から始まり、今年は第21回。その歴史を考えると、女性建築士としての地位を確立するまでの努力・苦労が垣間見られ、先輩方が築きあげてこられたものを、これから先も受け継いでいかなければならないという責任を感じました。

2日目は、各分科会に分かれて意見を交わしました。私たち広島は、F分科会『子どもと住環境』を発表。昨年、広島で開催されたWRの発表をPPTをベースに報告し、終了後に、各県から分科会に参加された方々と質疑応答や意見交換をしました。38名の出席者の方々と、子どもを巻き込んだ活動に対する苦労や問題点を話し合いました。

※子どもを対象とした活動に必要なこととして

◆子どものころから仕掛けていかなければ、将来へつながらない⇒授業の中へ組み込んでいく。

子どもたちが感じたものを伝えていく。

教えるのではなく、「考える」という

参加型の手法が良い。

◆自分たちが目的を持ち、最終的に何を伝えたいかを明確にしなければつながらない。

※子どもたちの募集をどうする？

◆子どものいるところへ入っていく→

学校の授業など…

◆教育委員会への働きかけ

◆大学との連携—大学生と一緒に—

広島 — 平和都市としての側面を大切に活動してほしい！

…という意見をいただき、まとめました。

分科会終了後、全体会が始まり、A～H分科会が報告。全体総評として、私たちが女性建築士としてこれから活動していく姿について発表がありました。そして平成23年全建女(京都)の案内、全国大会(佐賀)参加案内があり、無事閉会しました。

私は「第10回宮城大会」から参加させていただき、12年が経過しました。自分自身の意識の向上や、支部活動への活力になっていくよう努力していこうと、あらためて認識した2日間でした。

まだ参加されていない士会員の皆様、ぜひ1度参加してみられたらいかがでしょうか？男女は問わないので、男性の方も是非どうぞ。

